

# 山椒は小粒でも...



Vol.6

## どうなるの？ 旧鳥羽小学校



市長に就任してから5か月が経過しました。これまで、「リノベーション TOBA 鳥羽を再び、新しく」を市政のテーマに掲げて、私の思いを政策に反映させていきたいとご説明してきました。その中には、重要施策として木田市政から引き継ぎ、さらに検討を加えながら進めていかなくてはならない事業も多くあります。旧鳥羽小学校の保存・活用事業もその一つです。

旧鳥羽小学校は、平成20年に堅神町に移転するまでの8年間に約1万3,300人の子どもたちを送り出してきました。移転後、校舎については解体する案も検討されましたが、平成20年に市議会に対して1万1,050人の校舎保存を求める署名が提出され、請願が採択されました。その中では、校舎は昭和4年に鳥羽町と広野藤右衛門・御本幸吉を始め住民が力を合

わせて建設した鉄筋コンクリート3階建ての建物で、大正から昭和初期のコンクリート建築としては県内で唯一現存するものであり、鳥羽市の近代化を伝える代表的公共建築物であると紹介されています。

その当時、私も請願の紹介議員の1人として文化的価値の高い校舎を保存活用していくことに賛同し、同じ清水栄二氏が設計した神戸市の御影公会堂等の名建築を視察するなどして、旧鳥羽小の持つ文化的価値を再確認しました。

その後、校舎は、その文化的価値から平成22年に国の登録有形文化財に登録されました。この文化財建造物としての保存や活用については、活用準備会、校舎保存活用検討委員会、保存していくべき内容や校舎の活用などについて検討を進め、平成27年には、校舎保存活用計画を策定するに至っています。このよ



Vol.164

教育委員会生涯学習課 ☎ 1268

### 「人に優しい社会づくり」

今、日本は少子・高齢化、人口減少の問題を抱え、今まで経験しなかった問題に直面しています。

私事ですが、最近母の衰えをとみに感じます。もっとしつかり歩いていたように思いますが、いつまでも昔の母ではないのですが、昔のままをイメージしているとついつい言い方がきつくなります。母も自分の衰えをもどかしく思っています。自分は今まで体験していないことには不安を感じるものです。

高齢者の運転免許証の自主返納をめぐる、自用車の安全運転も大きな課題となってきました。便利な社会を求め、開発された家用車は世の中を大きく変えました。しかし、車がないと大変不便な社会をつくり出したのも事

実です。

社会の変化は人々にさまざまな考え方の変化をもたらしました。これからの時代、すべての人が活躍し、社会を支えていく共生社会の実現が必要となってきているのではないのでしょうか。共生社会をつくることを目指して、学校でもさまざまな取り組みが進められています。兄弟が少なくなり、異年齢で遊ぶことが少なくなつた子どもたちに、学校で、異年齢の関わりを作り出したり、家庭でお年寄りとの関わりが少なくなつた子どもたちが、介護施設などの実習を経験することで、人に優しく接することができるようになり組みもあります。体験で優しさの表し方を自分事として学ぶのです。

それぞれの人の立場に立つて物事を見ていく視点は人に優しい社会づくりの基本です。さまざまな人との共生の思いが大切に、思いやりのある行動のあり方は、共に生活することから知恵が生まれてくると思います。人との関わりが薄くなりつつある今、さまざまな人々と共に人に優しい社会づくりに進んでいきたいものです。